

日本造船工業会の概要

1. 沿革

わが国における造船事業者団体のはじまりは、1921年12月設立の「造船懇話会」とされている。その後、「造船聯合会」「社団法人造船連合会」と改組され、1940年7月「社団法人造船組合連合会」と改称された。戦時中の1942年1月に「社団法人造船組合連合会」が発展的に解消し、「造船統制会」が設立されたが、終戦後の1945年12月に解散した。

造船事業者は相互の連携を図るべき組織を失ったが、1947年9月25日、本会の前身である「造船倶楽部」が任意団体として新たに設立された。造船各社が戦後の混乱期を脱し、徐々に大型外航船の建造体制を整備するにつれて、本会は造船業における全国組織として名実共にその内容を充実させ、名称も「造船工業会」「日本造船工業会」と改称し、1951年8月には、社団法人として法人格を取得した。2012年4月には一般社団法人へと改組し、今日に至っている。

2018年6月21日現在、法人会員17社、団体会員1団体が加盟している。

1921年12月	造船懇話会設立
1931年11月	造船聯合会に改組
1937年7月	社団法人造船連合会に改組
1940年7月	社団法人造船組合連合会に改称
1942年1月	社団法人造船組合連合会が発展的に解消、造船統制会設立
1945年12月	造船統制会解散
1947年9月25日	造船倶楽部設立
1948年8月13日	造船工業会に改組
1951年4月21日	日本造船工業会に改称
1951年8月10日	社団法人日本造船工業会に改組
2012年4月1日	一般社団法人日本造船工業会に改組

2. 目的と事業

日本造船工業会は、定款で「造船業の健全なる発展を図り、もってわが国経済の繁栄と国民生活の向上に寄与することを目的とする」と定めており、この目的を達成するため、次の事業を行うこととしている。

- ① 造船業の振興に関する施策の立案及び推進
- ② 造船業の技術開発に関する施策の立案及び推進
- ③ 造船業の貿易、国際交流に関する施策の立案及び推進
- ④ 造船業に関する調査及び研究並びに情報の収集及び提供
- ⑤ 前各号に掲げるものの他、本会の目的を達成するために必要な事業